令和６年度

社会福祉法人
江東園
お年寄りと子どもと障がい者の施設

事業計画書

社会福祉法人　江東園

TQM 本部

目　次

令和6年度　事業計画

理念・基本方針・人財育成理念・行動指針　P. 2

事業所計画

特別養護老人ホーム　リバーサイドグリーン　P. 5
養護老人ホーム江東園　P. 7
江戸川保育園　P. 9
江東園ふれあいの里　くつろぎの間　P. 11
パワーアップトレーニング　P. 13
江東園さわやか相談室、江東園さわやか相談室しのざき　P. 14
江戸川熟年相談室　江東園　P. 16
なごみの家瑞江　P. 18
江東園ケアセンターつばき　えぽっく(生活介護、就労継続B型支援)　P. 20
江東園ケアセンターつばき　ふれあいの間・ほほえみの間　P. 23
江東園ホームヘルパーステーションつばき　P. 25
つばき保育園　P. 27

社会福祉法人
江東園
お年寄りと子どもと障がい者の施設

社会福祉法人
江東園
お年寄りと子ども、障がい者の施設

ミッション
ビジョン
バリュー

理念（ミッション：江東園が社会で果たしたい役割）

幸せ追求者

地域共生社会の実現の主導的存在として、
①地域の福祉サポートの中心的な役割を果たす
②地域のさまざまな課題を住民とともに解決する役割を果たす

【幸せ追求者としての基本方針】
①複合施設の利点を生かし、相互の交流を促進し、家族的な思いやり豊かな明るい施設をめざします
②地域福祉の拠点として地域に期待される施設づくりをめざし、創意工夫を行い、常に研鑽努力します
③地域の誰もがその人らしく幸せに暮らすことができる社会をめざします
④「やりたい」「できる」「必要とされている」が実現できる職場をめざします

存在意義

社会福祉法人
江東園
お年寄りと子どもと障がい者の施設

ミッション
ビジョン
バリュー

めざす姿（ビジョン：江東園が中長期的に実現したい状態）

新施設建設に向けた
変化に強い組織づくり

江東園がめざすもの2040
中長期ビジョン第Ⅰ期　2022-2024

社会福祉法人
江東園
お年寄りと子どもと障がい者の施設

価値観・行動指針（バリュー：日々の判断・行動の基準となる姿勢や価値観）

【人財育成理念】

輪

縦割りではなく、職種や部署を超えた「和」を大切にし、その和は「輪」となり、江東園に関わるすべてのひとの幸せに向かって走り続ける人

【行動指針】

1.誰に対しても寄り添います
相手がどのように思っているのか、どんな支援が必要なのかを常に考え、その人が幸せになるよう行動します。

2.人を大事にします
年齢や性別、国籍や障がいの有無、LGBTQなど、その違いを超えて誰もが尊厳のある人間であることを胸に行動します。

3.専門職としての誇りを大切にします
福祉専門職としての情熱と責任をもって日々努力し、何かあれば「江東園の人」と頼られる職員であるよう行動します。

4.地域の幸せを大切にします
全ての職員が様々な職務を通して、本当にその仕事が地域の幸せにつながっているのかを考え行動します。

令和6年度　戦略マップ

事業所：　特養　　定員：　50

【地域における事業所ミッション】

在宅生活が困難になった要介護状態の高齢者が住み慣れた地域で、安心して自分らしく、社会の一員として日常生活が過ごせるようサポートする。

◆事業所目標利用率

	令和6年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
特養	95%	92%	93%	92%
	令和6年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
ショート	95%	92%	78%	86%

【事業所中長期ビジョン】2025年にどうなっていたいか？

建て替え時の定員増加（ユニット60床、従来型２０床）→専門職として質の高いケアを実践できるとともに、一人一人が地域にも目を向け、その知識や技術が地域に還元できている。

【令和6年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

専門知識と技術の地域還元と、地域行事への参加促進

◆経営・財政の視点の戦略目標

稼働率95%の維持と確保（ショートステイとの連携）
入院者・空床期間の減少

◆顧客の視点の戦略目標

心身ともに健康的でその人らしい生活が送れる。

◆業務の視点の戦略目標

幸せ追求者として、利用者を第一に考えた業務効率化を図る。

◆人財の視点の戦略目標

ケアにおける課題に気づき発信し、自ら学び考え抜く（自発的に行動）職員の育成と縦ラインの再構築。

中長期ビジョン(2024～2027)	法人	新施設建設に向けた、変化に強い組織づくり	事業所または部課	特養サポート部	作成者	保田 稔	次年度計画へ
	事業所	建て替え時の定員増加(ユニット60床、従来型20床)→専門職として質の高いケアを実践できるとともに、一人一人が地域にも目を向け、その知識や技術が地域に還元できている。			更新者	保田 稔	

	戦略目標(KGI)	重要成功要因	業績評価指標(KPI)	ターゲット(数値目標)		アクションプラン(行動計画)			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か?	目標への進捗状況を何で測定するか?	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者																	
地域共生社会の推進	専門知識と技術の地域還元と、地域行事への参加促進	地域への専門職派遣 地域行事へ職員・利用者の参加	派遣・参加回数	1回	月	多職種と調整 地域行事情報集と発信		部長 課長																	
経営・財政	稼働率97%の維持と確保 入院者・空床期間の減少	入院者減少と常時 3名以上の待機者確保	特養・ショート稼働率(合算)	97%	月	常時2名以上の待機者準備(新規面談) 空床後速やかな入所調整		相談員																	
			特養稼働率	97%	月																				
			入院者	1名	月	入院要因の洗い出し		看護課長																	
		居宅支援事業所・包括との連携	ショート稼働率	90%	月	居宅支援事業所・包括との情報共有		相談員																	
顧客	心身ともに健康的でその人らしい生活が送れる。	世代間交流と短時間レクを実施し、QOLの向上を図り、生活リハビリの充実を図る。	レクリーション・世代間交流実施回数	15回	月	短時間レクの実施。 月日案に残す。		レク班																	
業務	幸せ追求者として、利用者を第一に考えた業務効率化を図る。	令和5年度のプロジェクトを特別班へ移行継続し、目的を数値で表し達成していく。	負担度軽減率	-10%	年	3～4か月ごとに負担率の可視化を図り、アクションの見直しを実施。 4月⇒負担度調査 8・12・3月⇒負担度調査 4月負担度より-10%		食事班 理髪班																	
								CW																	
								排泄班																	
								CW																	
福祉人財	ケアにおける課題に気づき発信し、自ら学び考え抜く(自発的に行動)職員の育成と縦ラインの再構築。 ・人財育成の仕組化とキャリアパスとの連動性 ・1on1の実施 ・コミュニケーションの促進	ケアの困りごとを把握し、OJT実施することでケアの質向上と人財育成を実施する。	OJT回数	1回	月	職員のケアに対する困りごとを把握し、OJTや質が向上する方法を見出す。		ケア指																	
		気づきから内容をピックアップし検討会を実施。	検討会回数	4回	年	気づきシートから内容精査し、必要な内容に対して事例検討会を実施。		課長 ケア指 課長補佐																	
						実施者(内容検討含む)																			
		気づき・ヒヤリハットを共有し、事故に繋がらない様に情報共有を行う。	件数回数	60件 (ヒヤリハット)	月	月件数の確認(インシデント・アクシデント)		入浴班																	
						月件数の確認(ヒヤリハット・気づき)																			
						統計確認者:職員輪番制																			
		等級に合わせた勉強会を実施し、キャリアパス項目において、前年度より1次評価がupする。	指導回数 人事考課表1次評価における特養総人数とアップした人数	1回	月	指導内容をNIコラボで共有 統計担当:課長		部長 課長 ケア指 課長補佐																	
				4月⇒3月において1次評価アップした人数	名	勉強会実施者 部長・課長・ケア指・課長補佐																			
		1on1を実施し、心理的安全性の確保、相互理解、コミュニケーション円滑化、自立促進を図る。	実施回数	1回	月	新人⇒インストラクター インストラクター⇒特別班責任者 特別班責任者⇒課長補佐 ※2年目以上職員希望性		課長 ケア指 課長補佐 特別班リーダー																	
						実施確認者:職員輪番制																			

	上半期評価(4/1～9/30)	下半期評価(10/1～3/31)	総括(BSC作成前までに)
地域共生社会の推進			
経営・財務・財務			
顧客			
業務			
福祉人財			

令和6年度　戦略マップ

事業所：　養護　　定員：　50

【地域における事業所ミッション】

地域共生社会の実現を体現する養護老人ホームであるために、利用者が地域の中で社会参加を果たし、いきいきとした生活が出来るよう参加の仕組みを構築していく

◆事業所目標在籍利用者数

	令和6年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
養護	50	49.6	49.9	49

【事業所中長期ビジョン】2025年にどうなっていたいか？

新施設建設時の養護老人ホームの在り方を考えた人材育成、組織作りをし自立した運営を目指す。また新しい世代間交流のカタチを創造し地域に出る事で利用者の豊かな社会生活を実現する

【令和5年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

地域活動に利用者自ら積極的に参加し、地域住民の一員として生活する

◆経営・財政の視点の戦略目標

安定した収益を確保し、健全な事業運営を行う。

◆顧客の視点の戦略目標

利用者の持てる力を活用し生活意欲を引き出す事で役割意識を持ち、有用感を持って笑顔で過ごすことが出来る

◆業務の視点の戦略目標

既存の仕組みを見直し活用する事で利用者と関わる時間を創出する

◆人財の視点の戦略目標

世代間交流を活発化し、様々な分野で活躍できる職員を育成する。

中長期ビジョン(2024～2027)	法人 / 事業所	新施設建設に向けた、変化に強い組織づくり 新施設建設時の養護老人ホームの在り方を考えた人財育成、組織作りをし自立した運営を目指す。 また新しい世代間交流のカタチを創造し地域に出る事で利用者の豊かな社会生活を実現する	事業所または部課	養護サポート部 養護サポート課	作成者	松原 学	更新者		次年度計画へ

	戦略目標(KGI)	重要成功要因	業績評価指標(KPI)	ターゲット(数値目標)		アクションプラン(行動計画)			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か?	目標への進捗状況を何で測定するか?	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者																	
地域共生社会の推進	地域活動に利用者自ら積極的に参加し、地域住民の一員として生活する	積極的に地域行事に参加することで地域還元する。(人財・お金)	地域イベント参加回数	24	回/年	地域行事予定の収集 包括、なごみの家との情報交換 地域行事、お手伝い活動への参加		相談員 支援員 看護師 栄養士														0回			
経営・財務	安定した収益を確保し、健全な事業運営を行う	在籍数と重度者加算の確保	在籍数の確保	50	名/月	各機関との情報提供と収集(江戸川区・他区・居宅・包括)		部長														####			
			重度者加算人数	18	名/月	自立支援 介護予防																####			
		終末期動向調査	実施人数	50	名/月	意向調査 家族との情報共有																0名			
顧客	利用者の持てる力を活用し生活意欲を引き出す事で役割意識を持ち、有用感を持って笑顔で過ごすことが出来る	外出、お手伝い、生きがい活動を通じて利用者自身がお互いを気遣えるような機会を作る。	利用者個人の生きがい活動の発掘	50	名/年	意向調査 写真撮影、掲示 アルバム作成		支援員														0名			
			一年一会	50	名/年	意向調査 企画作成 他課への協力依頼 写真撮影、掲示 アルバム作成																0名			
業務	既存の仕組みを見直し活用する事で利用者と関わる時間を創出する	使用中のマニュアルを今置かれている養護の状態に合わせ見直す	業務マニュアルの見直し	12 (項目名)	個/年	既存のマニュアル確認		酒井														0個			
			気づき・ヒヤリハット・ニヤリホット・医療、生活相談件数	80	件/月	件数管理 記入しやすさの追求		渡辺														####			
			事例検討件数	24	件/年	気づき・ヒヤリハット・ニヤリホット・医療、生活相談から事例抽出		部長 課長補佐														0件			
福祉人財	世代間交流を活発化し、様々な分野で活躍できる職員を育成する	外部研修に参加し世代間交流を深化させ、高齢者に対する知識・技術も向上する	内外部研修参加数(世代間交流研修 事業者間交流研修 専門研修)	16	回/年	研修参加調整 勤務調整 他課との調整		部長 課長補佐 支援員														0回			
			養護内勉強会実施回数	12	回/年	外部研修参加とフィードバック 勉強会内容精査 職員から職員への勉強会 専門職との調整		部長 課長補佐 支援員 栄養士 看護師														0回			
								年間予定	支援員	支援員	栄養士	看護	支援員	支援員	栄養士	看護	支援員	支援員	栄養士	看護					

	上半期評価(4/1～9/30)	下半期評価(10/1～3/31)	総括(BSC作成前までに)
地域共生社会の推進			
経営・財務・財務			
顧客			
業務			
福祉人財			

令和6年度　戦略マップ

事業所：　江戸川保育園　　定員：　138名

【地域における事業所ミッション】

子育ての拠点としての機能を踏まえ、地域から求められる保育園となるよう、保育環境の整備、保育者の技術・知識の向上をし、少子化問題にも立ち向かえる施設となる。

◆事業所目標利用率

令和6年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
100%	97%	100%	97%

【事業所中長期ビジョン】2025年にどうなっていたいか？

子育ての拠点としての機能を踏まえ、地域から求められる保育園となるよう、保育環境の整備、保育者の技術・知識の向上をし、少子化問題にも立ち向かえる施設となる。

【令和5年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

地域の住民との顔なじみの関係を構築して開かれた保育園、みんなの保育園になる

◆経営・財政の視点の戦略目標

●「選ばれる保育園」「居続けたい保育園」になるようにする。
●限られた財源の中で創意工夫を行い、保育を展開して安定した収支差額を保つ

◆顧客の視点の戦略目標

●子どもの尊厳を第一に考えた保育への転換を行う
●思いやりのある優しい人格形成を目指す

◆業務の視点の戦略目標

健常者・障がい者・外国籍などの様々な家庭や、利用者に寄り添う

◆人財の視点の戦略目標

●リーダー層・ミドルリーダーへの育成
●人間的な魅力の琢磨
●保育士・社会人としての質向上

中長期ビジョン（2022～2024）	法人	新施設建設に向けた、変化に強い組織づくり	事業所または部課	江戸川保育園	作成者	平山　哲也	次年度計画へ
	事業所	子育ての拠点としての機能を踏まえ、地域から求められる保育園となるよう、保育環境の整備、保育者の技術・知識の向上をし、少子化問題にも立ち向かえる施設となる。			更新者	森谷　幸太	

	戦略目標（KGI）	重要成功要因	業績評価指標(KPI)	ターゲット（数値目標）		アクションプラン（行動計画）			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か？	目標への進捗状況を何で測定するか？	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者																	
地域共生社会の推進	地域住民と顔なじみの関係を構築して開かれた保育園、みんなの保育園になる	●江戸川保育園の存在を知ってもらう。 ●安心・安全を提供する ●様々な催しを体験することで利用者が満足をする ●継続的な関係を築く	参加家庭・実施記録	20人/月	家庭数	きんたろう広場 体育教室 ※オンライン含む	50万	課長 各担当																	
経営・財務	●「選ばれる保育園」「居続けたい保育園」になるようにする。 ●限られた財源の中で創意工夫を行い、保育を展開して安定した収支差額を保つ	安定をした定員の確保	毎月の在籍数	/138人	人数	広報活動（SNSや自社HPの活用・近隣施設へのポスター掲示依頼）	10万	課長・各クラス																	
		限られた財源の中で、保育を進める。	使用金額	5万1千円/1か月	円	月に1回合計金額を算出し、サポート部会議で確認をする	62万	課長 物品係																	
顧客	●子どもの尊厳を第一に考えた保育への転換 ●思いやりのある優しい人格形成を目指す	事業所間交流を通して、多職種連携を学ぶ。	実施回数・実施記録	1人/2ヶ月	回数	研修報告会のフィードバック	〃	各職員 課長																	
		世代間交流をリフレーミングし、子どもが自主的・積極的になることができる保育内容の展開	実施回数・実施記録	6回/月	回数	園児が【製作を届ける・フロアの清掃活動・誕生会への出席・協同する】	5万	各クラス・ふれあい促進委員会																	
業務	健常者・障がい者・外国籍などの様々な家庭や、利用者に寄り添う	卒園アルバムの計画的な製作	完成したページ数	5ページ/各月	ページ数	全職員で計画的に卒園アルバムを製作	5万	ゆり組 担当																	
		●気付きの強化 ●保育感のすり合わせ及び、園児の課題や得手不得手を共有する。	実施回数・実施記録	300件/月	件数	グループウェアでの情報発信 にやりほっと【園児・職員】 事例検証会	1万	QC担当 課長																	
福祉人財	●リーダー層・ミドルリーダーへの育成 ●人間的な魅力の琢磨 ●保育士・社会人としての質向上	●人事考課制度の管理 ●職員の主体的な活動 ※職員の成果 ●保護者の満足度調査	●業務テスト ●面談回数 ●学期末のアンケート調査と第三者評価	業務テスト80点以上	点	保育・業務においてPDCAのサイクルを回す	20万	課長・課長補佐																	
				最終評語B(25点)評価以上90%	%	管理職が適切な助言や指示により現場を管理する																			
				年3回の面談	回数																				
				保護者満足度90%以上	%	保護者の意見を素直に取り入れ、保育・保護者対応を見直す																			

	上半期評価（4/1～9/30）	下半期評価（10/1～3/31）	総括（BSC作成前までに）
地域共生社会の推進			
経営・財務・財務			
顧客			
業務			
福祉人財			

令和６年度　戦略マップ

事業所：　認知症対応型通所介護　くつろぎの間　　定員：　24名（12名×2単位）

【地域における事業所ミッション】

・住み慣れた地域で認知症があっても地域の一員として社会とのかかわりが継続でき、その人らしい生活が継続できるよう、専門的支援を実施し認知症状の軽減と予防をはかる。
・専門的なリハビリサービスを提供することにより、地域の中で健康的に日常生活が維持できるよう支援する。

◆事業所目標利用率（認知症対応型通所介護）

令和６年度目標	令和５年度実績	令和４年度実績	令和３年度実績
80%	61%	60%	55%

【事業所中長期ビジョン】2025年にどうなっていたいか？

・認知症対応の専門集団としての確立
・地域密着事業として地域との関わりが強化される
・介護予防事業所として地域定着と安定運営

【令和6年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

・専門職の地域派遣

◆経営・財政の視点の戦略目標

・利用者継続利用による稼働率の安定化
・事業継続の判断と行政との連携

◆顧客の視点の戦略目標

・通所することが楽しみと日課になる
・家族との連携と支援の充実と健康管理

◆業務の視点の戦略目標

・日常生活の回復を意識した活動の構築と世代間交流の充実
・法人内他事業所との連携と合同行事参加
・安全な環境でのサービス提供と、新たな発見が出来る目を養う

◆人財の視点の戦略目標

・専門職としての研修の充実
・福祉ゼネラリスト育成の為に、法人内の事業を知る

中長期ビジョン（2022～2024）	法人	新施設建設に向けた、変化に強い組織づくり	事業所または部課	在宅サポート部	作成者	山田　由美子	次年度計画へ
	事業所	・住み慣れた地域で認知症があっても地域の一員として社会との関りが継続出来、その人らしい生活が継続できるよう、専門的支援を実施し認知症の経緯と予防を図る ・専門的なリハビリサービスを提供する事により、地域の中で健康的に日常生活が維持出来よう支援する			更新者	山田　由美子	

	戦略目標（KGI）	重要成功要因	業績評価指標(KPI)	ターゲット（数値目標）		アクションプラン（行動計画）			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か？	目標への進捗状況を何で測定するか？	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者																	
地域共生社会の推進	利用者の方の社会参加 オレンジカフェへの参加	包括・なごみとの連携	オレンジカフェへの参加回数	12	回/年	地域サポート部との連携・調整		山田 高瀬																	
経営・財務	新規利用者獲得にて、安定した稼動の確保（20名以上/1日）	居宅CMとの信頼関係の連携・再構築	稼働率	80	%	事業所廻り 空き情報のお知らせ 定期的なモニタリング送付 送迎範囲拡大	1万円	山田																	
								令和5年度	72,5%	65%	73,5%	70%	67%	64%	60%	56%	52%	43%	44%	51%					
顧客	・通所する事が楽しみとなる日課 ・家族との連携と支援の充実と健康管理	楽しみながら、周辺症状の緩和・体力維持が図れるﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの提供 ご家族へ支援効果確認	向上・維持の割合	90	%	アンケート作成・回収・集計（10月・11月）		山田 高瀬							作成・配布	回収・集計									
業務	・日常生活の回復を意識した活動の構築と世代間交流の充実	直接的・間接的な交流等、状況に応じた交流を図る	園児、えぽっくとの交流回数	12	回/年	保育園、えぽっく、ふれあい促進委員会との連携、調整		高瀬																	
	・安全な環境でのサービス提供と、新たな発見が出来る目を養う	「気づきシート」記入内容の確認、共有、事例検討	インシデント・アクシデント記入件数	0	回/月	月ごとの内容確認		山田 高瀬																	
福祉人財	・専門職としての研修の充実	定期的な研修の実施	研修参加回数	6	回/年	・内部研修参加（オンライン配信活用） ・認知症実践者、リーダー研修への参加		山田																	
	地域のニーズを知り、業務へ活かす	オレンジカフェへの参加	オレンジカフェへの参加回数	12	回/年	地域サポート部との連携・調整		山田 高瀬																	

	上半期評価（4/1～9/30）	下半期評価（10/1～3/31）	総括（BSC作成前までに）
地域共生社会の推進			
経営・財務・財務			
顧客			
業務			
福祉人財			

中長期ビジョン（2022～2024）	法人	新施設建設に向けた、変化に強い組織	事業所または部課	機能栄養課	作成者	鈴木　隆也	次年度計画へ
	事業所	誰もが主体的に行動ができる人財育成・成長が実感できる組織作り			更新者	畔蒜　浩平	

	戦略目標（KGI）	重要成功要因	業績評価指標(KPI)	ターゲット（数値目標）		アクションプラン（行動計画）			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か？	目標への進捗状況を何で測定するか？	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者（ペア）																	
地域共生社会の推進	近隣住民集まれ！地域住民の生きがいの創出	趣味を活動に変化させ充実	活動回数 ボランティア参加者数	10名	月	各課調整 スタンプラリー 会場確保 ボランティア募集 自主活動G活用 委員会との連携		畔蒜 入澤																	
		園むすびの会	参加率	参加率30%増 （前年度259名）	年					11名	30名	30名	42名		19名	21名	30名	30名	32名	14名					
	専門知識を地域還元	利用者体験inKTN	思いやり度	90%	年																				
経営・財務	稼働率・登録者数を維持し、安定した経営を目指す	選ばれるトレーニングルーム 稼働率を維持できる登録者数を確保する	登録者数	70名	年	営業活動 （包括・居宅） 電子カルテ 体力測定 個別メニュー強化 誕生祝カード 脳トレ配布		畔蒜																	
			稼働率	95%	月																				
顧客	入居者×地域住民 交流の場を創出 お互いがその人らしく生きがいを持てる関係構築	入居利用者の健康維持し入院者減少	肺炎・尿路感染入院者減少率	7名以下（50%減） 前年度14名	年	多職種連携 広報活動 集計・要因分析 口腔ケア充実 水分強化 余暇充実		大西 木内 （野添）	2名	1名	1名	3名	2名			2名	1名	2名							
			活動入居者数	50名	月																				
業務	サービスの質を確保し、安全で安心な環境を検討し続ける	動画検証会	年間事故件数減少 （皮膚トラブル・転倒）	14件以下（25%減） 前年度19件	年	集計・分類管理 情報発信 多職種連携		大西 木内	1件	1件	1件	1件	1件	2件	3件	5件	0件	2件	2件						
福祉人財	自ら育つ・自ら成長 チャレンジできる環境を育てる 不満ではなく、実現に向けた行動ができる職員を育成	完全自主参加型 部内研修・勉強会 学びの場を充実 ※成果発表へ繋げる	進捗管理会 タスク達成度	6回 75%	年	1on1 タスク管理表の作成		大西 入澤 （野添）																	
			勉強会開催	12回	年	進捗管理表作成 年間スケジュール 目標人数告知 広報活動 部署調整																			
			参加者数	60名	年																				

	上半期評価（4/1～9/30）	下半期評価（10/1～3/31）	総括（BSC作成前までに）
地域共生社会の推進			
経営・財務・財務			
顧客			
業務			
福祉人財			

令和6年度　戦略マップ

事業所：　居宅介護支援(本部・しのざき)　　定員：本部266・しの170

【地域における事業所ミッション】

地域で暮らす高齢者や障害のある方々が安心して暮らせる町作りを行い、信頼される居宅介護支援事業所として不動の存在感を示す

◆事業所目標利用率

令和６年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	令和３年度実績
本部266：90% しの170：95%	本部198：92% しの135：97%		

【事業所中長期ビジョン】2025年にどうなっていたいか？

江東園さわやか相談室で勤務するケアマネジャーは質が高く、地域住民や各種連携機関からも信頼されるケアマネ集団

【令和6年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域と利用者を繋げる橋渡しを行う他、防災関連の情報や緊急時の連絡体制の整備

◆経営・財政の視点の戦略目標

介護医療連携強化加算の取得(退院退所35/ターミナル15)
特定事業所加算Ⅱの維持

◆顧客の視点の戦略目標

医療連携を強化する事で在宅での看取りや退院時の在宅復帰時の不安感を払拭、生活不安や今後の生活の在り方等ACPを意識した目標設定を当事者に寄り添い行う

◆業務の視点の戦略目標

業務効率化
脱ペーパー、ICTを活用しタブレットでアセスメント実施
適正なケアマネジメントプロセス→ケアプラン点検

◆人財の視点の戦略目標

特定事業所加算算定要件研修・居宅介護支援法定研修の事業所内勉強会の実施(スキルUP会議/居宅会議)
地域居宅との横のつながり(事例検討会等)

中長期ビジョン(2022～)	法人	新施設建設に向けた、変化に強い組織づくり	事業所または部課	居宅介護支援サポート部	作成者	小野 亜紀子	次年度計画へ
	事業所	地域に根付く事業所として信頼され、質の高いケアマネジメントの提供			更新者	小野 亜紀子	

	戦略目標(KGI)	重要成功要因	業績評価指標(KPI)	ターゲット(数値目標)		アクションプラン(行動計画)			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か？	目標への進捗状況を何で測定するか？	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者																	
地域共生社会の推進	地域へ出る 地域を知る	地域特性・ニーズの把握	参加(参画)	開催時	回/月	地域で開催される地域の支援等会議や活動への参加 (参加成果まとめ)	0	大西 庄司																	
経営・財務	安定した 経営・財政	実働件数の達成	要介護 235/266 161/170	本部　88	%/月	長介護 小野30/高津35/薄井35 /米嶋35/柳澤35/大西35 松原35/吉本23/八巻3 錠30/尾崎35/寺村35/庄司35/高橋35	0	小野																	
				しのざき　95			0	錠																	
			要支援 49/55 26/28	本部　88	%/月	予防 小野4/高津8/薄井8 米嶋8/柳澤8/大西8 松原8/吉本3 錠4/尾崎8/寺村6/庄司8 高橋8	0	小野																	
				しのざき　95			0	錠																	
			計画相談	本部　1	件/月	障害 小野5/錠5	0	小野																	
				しのざき　1			0	錠																	
顧客	利用者満足度の向上 ・利用者意思決定支援 ・介護医療連携の強化 ・援助技術の向上 ・緊急時の連携	人生の最終段階における医療・ケアのあり方を考える	話し合いの場を持つ	要護利用者対象	回/月	ACPの実施	0	松原																	
		介護医療連携強化	病院・施設との連携(加算要件を満たす)	退院退所加算年35	回/年	退院退所時連携	0	米嶋																	
				ターミナル加算年15		ターミナル時連携	0	米嶋																	
		マイナス回答や困りごとの改善	アンケート結果	改善件数	回/年	アンケート調査		薄井 柳澤・真俣																	
		緊急時の連絡体制整備	緊急持出簿更新	1	回/月	情報確認	0	柳澤 高橋																	
業務	業務効率化の推進	ICT活用 (すぐろくケアマネ)	訪問先 アセスメント	5	回/月	タブレット活用	0	大西																	
	適正なケアマネジメントプロセス	ケアプラン点検	チェック回数	2	回/月	主マネからの指導	0	尾崎 高津 寺村																	
福祉人財	専門的知識・技術の向上	スキルUP会議での勉強会開催	法定・特定事業所要件研修	必須研修	回/年	スキルUP会議	2万	小野 錠																	
		他法人との事例検討会	東部ラボ・篠崎産保 有志会	7	回/年	他法人との連携	0	小野 錠																	

	上半期評価(4/1～9/30)	下半期評価(10/1～3/31)	総括(BSC作成前までに)
地域共生社会の推進			
経営・財務・財務			
顧客			
業務			
福祉人財			

令和6年度　戦略マップ

事業所：　江戸川熟年相談室　　定員：　なし

【地域における事業所ミッション】

介護・医療保険・福祉などの側面から高齢者を支える「総合相談窓口」として、総合相談・介護予防マネジメント・権利擁護・包括的ケアマネジメントの4つの機能で地域住民の生活サポートを行う。

◆事業所目標相談件数

令和6年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
5050	4451（1月現在）	3956	4006

【事業所中長期ビジョン】2025年にどうなっていたいか？

住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で互助の関係・繋がりができる。（地域包括ケアシステム）

【令和6年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

・みんなに優しい街を目指したネットワークが作られる。

◆経営・財政の視点の戦略目標

・委託仕様内容を遂行し安定かつ継続的に業務を行う。
・地域福祉ゼネラリスト人材育成の場となる。

◆顧客の視点の戦略目標

・（住民）生きがいに満ち、生涯現役な健康づくりが広がる。
・（事業者）地域ＣＭや各福祉事業所が安心して地域で活躍できるよう継続的支援。

◆業務の視点の戦略目標

・画一的なサービスを担保し業務効率化を図られる、安心と信頼のサービスが提供できる。

◆人財の視点の戦略目標

複雑化していく地域社会に向けて重層的支援ができる福祉ゼネラリスト及びスペシャリストを育成する。

中長期ビジョン（2022～2024）	法人	新施設建設に向けた、変化に強い組織づくり	事業所または部課	江戸川熟年相談室江東園（地域包括支援センター）	作成者	菊池　栄輝	次年度計画へ
	事業所	住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で互助の関係・繋がりができる。（地域包括ケアシステム）			更新者	櫻井　弥生	

	戦略目標（KGI）	重要成功要因	業績評価指標(KPI)	ターゲット（数値目標）		アクションプラン（行動計画）			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か？	目標への進捗状況を何で測定するか？	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者																	
地域共生社会の推進	・みんなに優しい街を目指したネットワークが作られる。	エドガワスマイルコミュニティ事業参画	ESC委員会活動	1回	年	地域づくり委員会、ESC委員会																			
		災害や地域困りごと対応に協力できる	地域の災害訓練参加、相談会等	1回	年	地域の活動情報収集 地域からの依頼を受ける		櫻井 増田																	
		地域共生学について理解を広げられる	授業を受け持つ		月	専門学校での講師		菊池																	
経営・財務	・委託仕様内容を遂行し安定かつ継続的に業務を行う。 ・地域福祉の担い手として、福祉ゼネラリスト人材育成の場となる。	記録時間の確保、後追い時間の確保	全相談件数	421件	月	相談2か月後履歴の後追い 相談後の記録		八巻																	
		予防プランが安定的に委託できる	委託プラン件数	150件	月	協力CMを作る		島岡 名取																	
		法人内プロジェクトでつながる	事業所間交流等受け入れ	6人	年	各種プロジェクト参加 事業所間交流受け入れ		櫻井																	
顧客	・（住民）生きがいに満ち、生涯現役な健康づくりが広がる。 ・（事業者）地域CMや各福祉事業所が安心して地域で活躍できるよう継続的支援。	主体的グループやチームオレンジが活動	地域活動計上件数	10回	月	チームオレンジ活動、認サポ、認知症カフェ等 町会・なごみと連携	3万円	山 増田																	
		リーダーとして活躍できる	リーダー定例会議	6回/上半期	年	リーダー育成PJ（まなびや）	1万円	高橋																	
		CMと顔の見える関係構築と質の向上	東部ネットワークラボ	6回	年	CMと共同会議開催 情報交換会		櫻井																	
業務	・画一的なサービスを担保し業務効率化を図られる、安心と信頼のサービスが提供	業務効率化につながる。手順がわかりやすい。	マニュアル作成取り組み	1回	月	活用しやすいマニュアル。BCP計画等含む		櫻井																	
福祉人財	複雑化していく地域社会に向けて重層的支援ができる福祉ゼネラリスト及びスペシャリストを育成する。	各専門ｽｷﾙｱｯﾌﾟ	各種研修参加	27人	年	1人3回以上研修受ける。（虐待等含む）		湧井																	
		育成ビジョンが明確	職員個別面談	8回	年	1on1		櫻井																	

	上半期評価（4/1～9/30）	下半期評価（10/1～3/31）	総括（BSC作成前までに）
地域共生社会の推進			
経営・財務			
顧客			
業務			
福祉人財			

令和6年度　戦略マップ

事業所：　なごみの家　　定員：　なし

【地域における事業所ミッション】

年齢や障害の有無に関わらず、誰もが相談でき、気軽に集えるまちの福祉拠点でありつづけ、地域の皆さんの協力を得ながら、誰もが住み慣れた場所で自分らしく暮らし続けることができる地域づくりを目指します。

◆事業所目標来所者数

令和6年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
6500人			6386人

【事業所中長期ビジョン】2025年にどうなっていたいか？

・地域活動リーダーを主体とした新しい地域活動が生まれる。
・重層的支援体制が整備され、地域住民や関係機関との連携が強化しあらゆる相談に対応できる。

【令和6年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

誰ひとり取り残さないみんなに優しい街を目指したネットワークが作られる

◆経営・財政の視点の戦略目標

・委託事業の安定的運営
・地域福祉の担い手として、福祉ゼネラリスト育成の場となる

◆顧客の視点の戦略目標

・生きがいに満ち生涯現役な健康づくりが広がる地域活動の実施
・複合化・複雑化した支援ニーズへの対応

◆業務の視点の戦略目標

・地域や関係機関とのネットワーク強化
・多職種連携による重層的支援体制整備が進む

◆人財の視点の戦略目標

・地域支援のスキルアップ(あらゆる分野の相談に対応できるスキル・まちづくりを促進するアウトリーチのスキル)

中長期ビジョン（2022～2024）	法人	新施設建設に向けた、変化に強い組織	事業所または部課	なごみの家瑞江	作成者	菊池　栄輝	次年度計画へ
	事業所	・地域活動リーダーを主体とした新しい地域活動が生まれる。 ・重層的支援体制が整備され、地域住民や関係機関との連携が強化しあらゆる相談に対応できる。			更新者	菊池　栄輝	

	戦略目標（KGI）	重要成功要因	業績評価指標(KPI)	ターゲット（数値目標）		アクションプラン（行動計画）			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か？	目標への進捗状況を何で測定するか？	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者																	
地域共生社会の推進	誰ひとり取り残さないみんなに優しい街を目指したネットワークが作られる	デジタルデバイド解消	スマホ相談会の開催回数	6回/年	回	・インフォーマル資源(ボランティア・若い世代)の活用（世代間交流）		鬼沢																	
		地域住民のニーズの掘り起こし	地域見守り名簿登録者へのアプローチ回数	1回/月	回	・名簿による電話・訪問等の実施 ・ニーズの分析		虎岩 鬼沢																	
		地域共生学について理解を広げられる	授業を受け持つ		月	専門学校での講師		虎岩 鬼沢																	
経営・財務	・委託事業の安定的運営	委託事業を確実に遂行する	委託事業の達成率	年度末100%	%	年間・月間計画の調整		菊池																	
	・地域福祉の担い手として、福祉ゼネラリスト育成の場となる	法人職員が地域と繋がる機会をつくる	事業所間交流等の受け入れ	6人/年	人	地域活動への参加、DNA・グループウェアの活用		虎岩 鬼沢																	
顧客	・生きがいに満ち生涯現役な健康づくりが広がる地域活動の実施 ・複合化・複雑化した支援ニーズへの対応	・つながり続けることを目指すアプローチ ・顔の見える関係から「連携」できる関係へ ・遠方の地域住民も活用しやすい	通いの場・リーダー育成等支援回数	3回/月	回	・リーダー育成PJ・長寿会等へのヒアリングやニーズの掘り起こし・通いの場支援		虎岩 鬼沢																	
			地域活動回数	3回/月	回	出張相談会、親子向けサロン等、地域ニーズ対応活動、地域防災活動		虎岩 鬼沢																	
			多職種連携による支援ケース数	2ケース/年	ケース	具体的解決に向けた支援、つながり続ける支援、支援会議、重層的支援会議		虎岩 鬼沢																	
業務	・地域や関係機関とのネットワーク強化	地域のキーパーソンとの繋がりを強化する	地域支援会議メンバーへのヒアリング回数	1回/月	回	・電話・訪問等の実施 ・ニーズの分析		鬼沢																	
	・多職種連携による重層的支援体制整備が進む	重層的支援体制整備を江戸川区・区社協とともに行う	各種会議参加	1回/月	回	重層的支援会議・支援会議・支援体制検討等参加																			
福祉人財	地域支援のスキルアップ(あらゆる分野の相談に対応できるスキル・まちづくりを促進するアウトリーチのスキル)	専門分野の知識・支援技術の向上を目指す	コミュニティーソーシャルワーク研修・他機関見学	3回/年	回	情報収集		菊池																	
			多種多様な分野の知識向上のための研修参加回数	1回/年 (スタッフ全員対象)	回	研修実施後にアウトプットの時間を設け、相互の気づきを共有し人材育成につなげる場とする		菊池																	

	上半期評価（4/1～9/30）	下半期評価（10/1～3/31）	総括（BSC作成前までに）
地域共生社会の推進			
経営・財務・財務			
顧客			
業務			
福祉人財			

令和6年度　戦略マップ

事業所：　生活介護　えぽっく　　定員：　50

【地域における事業所ミッション】

誰もが安心して自分らしく暮らせる町（共生社会）の実現に向け、日常生活全般に支援を必要とする方に介護等を提供するとともに、創作的活動・生産的活動を提供し、自立を支援する。

◆事業所目標利用人数（年度末実数）

令和6年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
48	45	45	43

【事業所中長期ビジョン】2027年にどうなっていたいか？

・50名の利用者が在籍し、**毎月営業可能日数（-8日）**通所する
・グループホーム開設、ショートステイ実施、相談支援員3名に増員、法人内の居宅介護等と**多職種連携し**、利用者の地域生活継続を実現する体制が強化されている。

【令和６年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

えぽっくの強みを生かした地域の公益的な取り組みを実施し、**共生社会への実現へ近づく**

◆経営・財政の視点の戦略目標

適正な収益を確保する（事業収支差額　生活介護：610万円/年　収支差率4%　自立支援給付費収入：1100万円/月）

◆顧客の視点の戦略目標

人権を尊重した自己選択・自己決定に配慮した支援を行う

◆業務の視点の戦略目標

・安全・安心で良質な支援を行う体制を整備する
・日常的な世代間交流を行う体制を構築する

◆人財の視点の戦略目標

専門性（**障害者支援の基盤とソーシャルワーク**）・組織性（**業務改善ができる人財・マネージャー**）の高い職員を育成する

令和6年度　戦略マップ

事業所：　就労継続支援Ｂ型　えぽっく　　定員：　10

【地域における事業所ミッション】

誰もが安心して自分らしく暮らせる町（共生社会）の実現に向け、支援が必要な障害がある方に対して継続した就労の機会の提供を行い、職場内訓練、雇用への移行支援等を行う

◆事業所目標利用人数（年度末実数）

令和６年度目標	令和５年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
11	10	11	10

【事業所中長期ビジョン】2027年にどうなっていたいか？

・一般就労実績が1名以上実現している
・就労継続支援Ｂ型事業所（サテライト・単独）または就労移行支援事業が開設している
・法人内就労サイクルが実現と**新しい生産活動が軌道に乗っている**

【令和６年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

えぽっくの強みを生かした地域の公益的な取り組みを実施し、共生社会の実現へ近づく

◆経営・財政の視点の戦略目標

・適正な収益を確保する（就労支援収入目標月額：90万円　内訳：ポップコーン50万円　カフェ16万円　受託24万円）
・事業収入の20％で事業所平均工賃25,000円を実現する

◆顧客の視点の戦略目標

個人の強みを発揮し、働きがいを感じながら通所する

◆業務の視点の戦略目標

・個々の特性に合った安全な就業体制を構築する
・日常的な世代間交流を行う体制を構築する

◆人財の視点の戦略目標

専門性（**障害者支援の基盤とソーシャルワーク**）・組織性（**業務改善できる人財・マネージャー**）の高い職員を育成する

中長期ビジョン（2022～2024）	法人	新施設建設に向けた、変化に強い組織づくり	事業所または部課	障がいサポート部　多機能型	作成者	松沢一樹	次年度計画へ
	事業所	（生活介護） 誰もが安心して自分らしく暮らせる町（共生社会）の実現に向け、日常生活全般に支援を必要とする方に介護等を提供するとともに、創作的活動・生産的活動を提供し、自立を支援する （就労継続支援B型） 誰もが安心して自分らしく暮らせる町（共生社会）の実現に向け、支援が必要な障害がある方に対して継続した就労の機会の提供を行い、職場内訓練、雇用への移行支援等を行う			更新者	松沢一樹	

	戦略目標（KGI）	重要成功要因	業績評価指標（KPI）	ターゲット（数値目標）		アクションプラン（行動計画）			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か？	目標への進捗状況を何で測定するか？	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者																	
地域共生社会の推進	えぼっくの強みを活かした地域の公益的な取り組みを実施し、共生社会への実現へ近づく	【共通】 世代や属性を超えて交流できる場の確保 LINE登録者	新規ユーザー獲得 アクティブユーザー数	100人	年	地域住民との交流事業 施設機能を地域へ開放 地域の関連機関や団体とのパートナーシップを強化する		杉																	
		【生活介護】ブランド制作プロジェクト 地域イベントに参加して障害者の可能性をしってもらう	商品の売り上げ	¥100,000	年	年間販売スケジュールの作成 売上表の作成（ICT導入） 商品のクオリティを高める 新商品の開発、商品説明ポップづくり		大河内																	
経営・財務	令和6年の報酬改定を踏まえ収益性アップを目指す	【共通】 災害に強い施設経営	BCP訓練の実施	2回	年	マニュアル研修の実践 BCP机上訓練の実施・防災宿泊訓練の実施 マニュアルの作成・更新		田邉																	
		【生活介護】 健全な経営基盤の確立	収益率	6%	月	効率的な運営の確立 コスト削減 顧客満足度の向上 顧客獲得		杉																	
		【就労継続支援B型】 就労継続支援B型事業の拡大	売り上げ	¥800,000-	月	イベント販売 販路拡大 ネットワーク強化		長沢																	
			内定者	5人	年	新規利用者の獲得 実習生の受入期間の適切な評価を出す 法人内業務の確保																			
顧客	人権を尊重した自己選択・自己決定に配慮した支援を行う	【生活介護】 強度行動障害を有する利用者が自分の関心やニーズに合ったプログラムを選択出来るよう多様な選択肢を提供する	プログラム実施回数	4回	月	強度行動障害　1名選定 強度行動障害者への個別プラン作成 利用者のニーズ調査 プラン評価は2か月毎に実施		秋元																	
		【就労継続支援B型】 個人の強みを引き出し顧客満足度を高める	就労アセスメント実施回数	2人	月	作業過程の構造化・可視化を行う ジョブコーチ研修への参加 スケール評価（一般就労、生活介護移行の目安を確認） 3ヶ月毎の評価とモニタリング実施		山田																	
		【生活介護】イベントプロジェクト 日中の活動が見えるようになり顧客満足度の高い施設になる	イベント参加率 （令和元年以降の保護者）	50%	月	保護者と一緒に企画を考える 土日営業を設定する 利用者の成長を感じられる企画作り		仲程																	
業務	業務プロセスの見直し効率化の促進を通じて生産性を向上させ日常的な世代間交流を行う体制を構築する	【共通】 日常の世代間交流	交流回数	10回	月	ふれあい促進委員会で世代間交流について考える		松瀬																	
		【生活介護】QC改善プロジェクト 業務の効率化	ケース記録の短縮率	30%	年	業務の可視化 ケース記録マニュアルの作成（ルールとフォーマットづくり） 上半期・下半期で達成率をチェック		清水																	
		【生活介護】 AI/ICTの活用による業務改善	会議録作成時間短縮	30%	年	会議録作成時間の把握（月間） 課題分析を行い適切なICTの活用を検討 会議録作成時間短縮の検証を行う 上半期・下半期で達成率をチェック		秋山																	
		【就労継続支援B型】 在庫の最適な管理を行い、滞留在庫を減らすことで回転率を向上する	棚卸の実施	1回	月	マニュアル作成 在庫を分類する（導線の確保と効率的な配置） POSシステムの導入 年間スケジュール確認（イベント販売）		杉本																	
福祉人財	専門性（障害者支援の基盤とソーシャルワーク）・組織性（業務改善ができる人財・マネージャー）の高い職員を育成する	チーム連携の強化	クラス会議	4回	月	利用者視点に立ち、支援の在り方を検討する 利用者の自己決定や自立支援を尊重し促す フィードバックの実践 日々の振り返りミーティングの実施（クラス毎15分）		秋元																	
		ストレングスを重視することが出来る職員の育成	自主研修会	1回	月	グループワーク・事例検討の実践 自立支援・自己決定支援への取り組み オンデマンド研修への参加 年間計画の作成 講師は輪番制（3等級以上）		山田																	

	上半期評価（4/1～9/30）	下半期評価（10/1～3/31）	総括（BSC作成前までに）
地域共生社会の推進			
経営・財務・財務			
顧客			
業務			
福祉人財			社会福祉法人　江東園

令和6年度　戦略マップ

事業所：　ふれあいの間　　定員：　35人

【地域における事業所ミッション】

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、自宅にこもりきりの利用者の孤立感の解消や心身機能の維持、家族の介護の負担軽減等のため、入浴やリハビリ等のサポートを提供する

◆事業所目標利用率

	令和６年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
ふれあい	90.0%	85.8%	83.4%	88.4%
ほほえみ	**事業終了**	64.0%	54.9%	63.7%

【事業所中長期ビジョン】2027年にどうなっていたいか？

社会福祉法人のデイサービスとして、地域に必要なサポートを提供し続け、安定経営を実現している

【令和６年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

共生社会実現に向け、地域における公益的な取り組みを実施する

◆経営・財政の視点の戦略目標

適正な収益を確保する（介護保険事業収入　610万円/月、収支差率2%）

◆顧客の視点の戦略目標

利用者の自己決定を尊重し、**利用者満足度の高い且つ**家族負担の軽減を図るサポートを提供する

◆業務の視点の戦略目標

・安全安心・**効率的で**良質なサポートを提供する体制を構築する
・日常的な世代間交流を行う体制を構築する

◆人財の視点の戦略目標

多様な人財が活躍・定着する

更新日:2024/6/10

中長期ビジョン(2024～2026)	法人	新施設建設に向けた、変化に強い組織づくり	事業所または部課	ふれあいの間	作成者	杉大治・水村	次年度計画へ
	事業所	利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、自宅にこもりきりの利用者の孤立感の解消や心身機能の維持、家族介護負担の軽減等の為、入浴やリハビリのサポートを提供する。社会福祉法人のデイサービスとして、地域に必要なサポートを提供し続け、安定経営を実現できるようにする。			更新者	松沢・水村	

	戦略目標(KGI)	重要成功要因	業績評価指標(KPI)	ターゲット(数値目標)		アクションプラン(行動計画)			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か?	目標への進捗状況を何で測定するか?	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者																	
地域共生社会の推進	共生社会実現に向け、地域における公益的な取り組みを実施する	作品展への出展	出展者数	10名/年	名	利用者へ促す	0円	林田																	
		利用者の役割意識の向上	暦作成への参加	参加者数/月	名	暦作成の依頼	0円	本橋																	
		就労Bによるコーヒー出張販売	参加利用者数/回	10名以上の参加	名	就労支援B型と調整	0円	水村																	
経営・財務	適正な収益を確保する(ふれあい:事業収支差額150千円/月)	新規利用者の確保、見学希望者への迅速な対応	毎月の稼働率	ふれあいの間89%	%	稼働率の維持、向上 接客対応の向上	0円	松沢 水村																	
			新利用者2名/月の確保	2名/月	名																				
		居宅支援事業所への営業	訪問事業所数	5か所以上 4回/年	箇所	営業活動	1万円																		
		口腔ケア加算の取得	実施人数	3名/月	名	口腔状態確認	0円																		
顧客	利用者の自己決定を尊重し、利用者満足度の高く且つ家族負担軽減を図るサポートを提供する	満足度を把握する	アンケートの実施回収率	95%	%	アンケート作成	0円	水村																	
		通所に目的を持つ	皆勤賞、永年通園賞の表彰	該当参加者数	名	5年、10年、15年、20年、25年、30年の通所者、欠席0日の利用者を把握し賞状の作成。それぞれ該当利用者に景品をプレゼント。2月末でメ。	5万円																		
		個別機能訓練の実施	毎月の平均人数	15/月	名	個別機能訓練希望者の獲得	0円																		
		目的を持った活動参加	スタンプ数	350/月	個	マイワンデイへの参加促進	3万円	高松																	
業務	日常的な世代間交流を行う体制を構築する	園児、えぼっく利用者との交流	月の交流回数	5回/月	回	保育室へ積極的に向かうことを促す。又えぼっくとの調整を図る。	0円	水村																	
	安全安心・効率的で良質なサポートを提供する体制を構築する	チームケアを確立することで、業務の意思統一化をする	毎月のヒヤリハット件数	100件/月	件	一人10件の目標	0円	小板橋																	
			マニュアルの見直し	100/月1回	%	本橋CW、小板橋CW,高松CW、課長で集まり1マニュアルを作成する。又育成の課題や業務課題について話し合う。	0円	水村																	
			リーダー層、課長での会議	100/月4回	%		0円																		
			振り返りの実施回数	毎日	30回	毎日5～10分程で業務の振り返りを行い育成やコミュニケーションの確立を目指す	0円																		
			フロア会議	参加者数/月	人	毎月第2金曜日に実施。個別利用者の現状、課題、対応策を共有する。	0円																		
福祉人財	多様な人財が活躍・定着する	就労B委託業務受入れ	配膳・下膳の作業	週5日・1h/日	回	就労支援B型と調整	25万円	水村																	
		事業所間交流	交流参加者数	6回/年	名	他課と調整	0円																		

	上半期評価(4/1～9/30)	下半期評価(10/1～3/31)	総括(BSC作成前までに)
地域共生社会の推進			
経営・財務・財務			
顧客			
業務			
福祉人財			

令和6年度　戦略マップ

事業所：　訪問介護　　定員：　なし

【地域における事業所ミッション】

高齢者や障害児者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう身体介助・生活援助・移動支援などのサポートを提供する

◆事業所目標利用件数平均（日）

	令和6年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
平日	100	75.4	91.7	94.3
土日祝	30	26.2	25.2	18.6

【事業所中長期ビジョン】2027年にどうなっていたいか？

・養護老人ホーム江東園が利用する訪問介護援助をシェア90%確保する
・障害者支援の援助が全援助の30%（報酬対比）となる（R4　12%）
・1日平均120件の援助回数を行う

【令和6年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

共生社会実現に向け、地域における公益的な取組を実施する

◆経営・財政の視点の戦略目標

平均稼働「100件/日」を行うとともに、適正な収益を確保する（事業収入　810万円/月、収支差率7%）

◆顧客の視点の戦略目標

利用者の自立支援と家族の介護負担の軽減を図るサポートを提供する

◆業務の視点の戦略目標

ICTのさらなる活用を行い、業務改善を行う

◆人財の視点の戦略目標

・サービス提供責任者および登録ヘルパーの専門性（認知症・看取り・自立支援）を高める
・サービス提供責任者の業務実績を数値化し、見える化する

中長期ビジョン(2022～2024)	法人	新施設建設に向けた、変化に強い組織づくり						事業所または部課	訪問介護サポート課	作成者	松沢一樹・保田沙織	次年度計画へ
	事業所	・養護老人ホーム江東園が利用する訪問介護援助をシェア90%実施する ・障害者支援の援助が全援助の20%となる ・1日平均120件の援助回数を行う								更新者	保田 沙織	

	戦略目標(KGI)	重要成功要因	業績評価指標(KPI)	ターゲット(数値目標)		アクションプラン(行動計画)			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か？	目標への進捗状況を何で測定するか？	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者																	
地域共生社会の推進	共生社会実現に向け、地域における公益的な取組を実施する	包括的に孤立者を防ぐ。	困難事例の件数	2名/月	名	困難事例を受け入れるための知識向上。		渡辺																	
経営・財務	平均稼働「100件/日」を目指すとともに、適正な収益を確保する(事業収支差額●●●円/月)	利用者の訪問件数が安定する。	サ責の援助率	15%/月	%	早番・遅番出勤の導入		松沢																	
			障がいサービス支援の件数(平日)	300件/月	件	相談支援事業所に挨拶		保田																	
			平均稼働件数(平日)	100件/日	件	援助内容の見直し及び提案をしキャンセルを防ぐ		保田																	
顧客	利用者の自立支援と家族の介護負担の軽減を図るサポートを提供する	サ責が経営に参加する。	登録利用者件数	210件/月	件	エリアの見直し・居宅等への営業活動を行う。	2万円	保田																	
		利用者・利用者家族の困りごとを把握しサポートする	利用者アンケートの回答率	90%/回	%	訪問し聞き取り調査を行1フィードバックを行う		菅 吉川																	
			サ責の利用者宅訪問件数	70件/月	件	援助とは別に利用者宅へ訪問する		清水																	
		災害時にも安心して利用できるようBCP策定・見直しを行う	利用者のトリアージを行う	2回/年 実施の有無	有無	災害時に訪問する優先順位をつける。		吉川																	
業務	ICTのさらなる活用を行い、業務改善を行う	介護知識の向上のためにヘルパーの個別研修を実施	オンライン研修の受講	11件/月 (1コマ15分)	件	オンライン研修を導入し自己啓発を促していく		清水																	
		介護マニュアル更新	更新回数	1回/奇数月	回	サ責・ヘルパーで意見を出し作成していく。		谷脇																	
		印刷物の削減	利用者台帳の整理	2回/年 実施の有無	有無	サ責同士で漏れがないかチェックする。印刷物の削減を目指す。		菅 吉川																	
福祉人財	サービス提供責任者および登録ヘルパーの専門性(認知症・看取り・自立支援)を高める	サ責間でのコミュニケーション強化。	サ責会議の開催	2回/月 実施回数	回	サ責・ヘルパーとの情報共有・情報交換を行う		松沢 保田																	
			外部研修の参加	2回/人/年	名	研修会参加後の報告会を開催	10万円																		
		事業所体制加算(Ⅱ)要件・公表制度に基づいたヘルパー研修の開催と介護技術を中心とした研修会を開催する	ヘルパー研修開催。欠席者の補講を実施し、参加者100%とする	1回/月 出席率目標80%/回	%	研修後の気づきアンケートを実施し研修参加への動機づけを行う	3万円																		
			ヘルパー研修欠席者の補講を100%とする	1回/月 対象者	%	ヘルパーのタイミングで補講研修を行う																			
		利用者の情報や援助内容の伝達、技術指導の会議開催	事例検討	1回/月	回	ヘルパー研修内にて時間を設け行う		渡辺																	

	上半期評価(4/1～9/30)	下半期評価(10/1～3/31)	総括(BSC作成前までに)
地域共生社会の推進			
経営・財務・財務			
顧客			
業務			
福祉人財			

令和6年度　戦略マップ

事業所：　江東園つばき保育園　　定員：　19

【地域における事業所ミッション】

従業員および地域のための小規模保育所として、地域の抱えるさまざまな保育ニーズに**切れ目なく**、きめ細やかに対応していき、安心してこどもを産み育てることができる地域づくりをおこなう

◆事業所目標利用率

令和6年度目標	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
19.0人/月平均	19.3人/月平均	17.3人/月平均	19.9人/月平均

【事業所中長期ビジョン】2027年にどうなっていたいか？

・毎年従業員および地域枠合わせて定員19名で事業運営している。
・外国にルーツのあるこども、**医療ニーズや**ハンディキャップのあるこどもなどあらゆるこどもを受け入れられている（どんなこどもも決して断らない）

【令和6年度　戦略マップ】

◆地域共生社会推進の視点の戦略目標　　SDGs

江東園つばき保育園の強みを生かした地域における公益的な取り組みをい、**子育てしやすい地域づくりをおこなう**

◆経営・財政の視点の戦略目標

定員の確保（19人）と適正な収益を確保する（地域型保育給付費：470万円/月　事業収支差率　5%）

◆顧客の視点の戦略目標

・こどもの総合的な心身の発達をめざす保育を行う（5領域）
・保護者および地域の子育て支援を行う

◆業務の視点の戦略目標

・安全安心かつ効率的な保育サポートを行う体制を整備する
・日常的な世代間交流を行う体制（**インクルーシブ保育**）を構築する

◆人財の視点の戦略目標

専門性（**保育とソーシャルワーク**）・組織性（**業務改善できる人財**）の高い職員を確保・育成する

中長期ビジョン(2022～2024)	法人	新施設建設に向けた、変化に強い組織づくり	事業所または部課	江東園つばき保育園	作成者	川口　梨彩	次年度計画へ
	事業所	・毎年従業員および地域仲合わせて定員19名で事業運営している。 ・外国にルーツのあるこども、医療ニーズやハンディキャップのあるこどもなどあらゆるこどもを受け入れられている (どんなこどもも決して断らない)			更新者	川口　梨彩	

	戦略目標(KGI)	重要成功要因	業績評価指標(KPI)	ターゲット(数値目標)		アクションプラン(行動計画)			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成したか	達成率	継続実行	修正実行	完了
	ビジョンを達成するための戦略目標	ビジョン・戦略を達成するためには何が重要な成功要因か？	目標への進捗状況を何で測定するか？	数字で目標を設定	単位	KPIを達成するために具体的にやること	予算	責任者																	
地域共生社会の推進	江東園つばき保育園の強みを生かした地域における公益的な取り組みを行い、子育てしやすい地域づくりをおこなう	つばきと地域が交わる	交流回数 (挨拶＋会話)	10	回/月	園外散歩・公園等での活動 SMT内での話し合い	0	髙橋(裕)																	
			学生受け入れ件数	5	件/年	小中学校・町会・各種団体との調整	0	井上 川口																	
経営財務	定員の確保(19人)と適正な収益を確保する (事業収支差額●●●万円)	働き手が増える	掲載回数	10	人/年	SNS・ポスター等に保育職員の生の声・写真を掲載	0	川口																	
			ボランティアマッチング件数	3	件/年	ボランティア募集	0	川口 荒瀬																	
顧客	こどもの総合的な心身の発達をめざす保育を行う (5領域) 保護者への子育て支援を行う	活動内容の充実	実施回数	12	件/月	googleフォームで意見集約 回覧後実践	0	髙橋(智) 山田																	
		家庭に寄り添い統一した保育・支援	フィードバック回数	20	件/年	園児・保護者について カンファレンス	0	酒井																	
		子どもの主体性を大切にした保育の実践	実施後ブログ掲載回数	2	件/月	園児の声を拾い活動に反映後、SNSで保護者へ周知	0	森崎 永野																	
業務	安全安心かつ効率的な保育サポートを行う体制を整備する 日常的な世代間交流を行う体制(インクルーシブ保育)を構築する	集中した業務時間の確保	ノンコンタクトタイム回数 (正規保育士/平日対象)	48 (12回×4人想定)	件/月	職員配置の調整	0	髙橋(智)																	
		園児・利用者の得意を伸ばす	実践回数	3	件/月	利用者の得意を伺う 世代間交流・広報の強化	0	髙橋(裕) 小野																	
		行事のPDCAサイクルを回す	計画的に行えた行事数	21	件/年	滞りなく進めるための話し合いと書面の準備	0	小野																	
福祉人財	専門性(保育とソーシャルワーク)・組織性(業務改善できる人財)の高い職員を確保・育成する	気づきの視野・視点を広げる	気づきシート職員平均	15	平均/月	googleフォームを用いて 一日一件以上報告	0	川口																	
			気づきシート統計周知回数	1	回/月	気づきシートの統計把握	0	佐藤																	
		職員の知識底上げ	勉強会回数	10	件/年	行政・地域資源・専門技術を学ぶ	0	佐藤																	
		業務改善が出来る	業務改善完了数	5	件/年	業務改善内容を聞き取り、改善が得意な職員と実施	0	川口																	

	上半期評価(4/1～9/30)	下半期評価(10/1～3/31)	総括(BSC作成前までに)
地域共生社会の推進			
経営財務			
顧客			
業務			
福祉人財			